



## 八戸バイパス全線完成

一般国道45号八戸バイパスは、八戸市内の交通混雑解消を目的に、昭和40年に事業着手し、昭和59年までに全線を2車線で供用しました。交通量の増大や沿道開発の進展により主要幹線道路としての機能が低下し、昭和49年からは並行して4～6車線化を進めています。

地域活性化促進道路事業として、また21世紀活力圏創造事業、国際交流インフラ推進事業においても整備強化路線として位置づけられ、地域の産業経済の活性化や地域振興などにも多大な効果をもたらすことが予想されることから、期待、関心の高かった路線でもあります。



そんな八戸バイパス(八戸市大字妙字大開、延長約300m)の工事が間もなく完成し、平成21年3月27日(金)午後3時より、4車線にて開通することとなりました。

これにより、すでに開通している13.22kmの区間とあわせて、6車線と4車線で計画されてきた八戸バイパスの全線が完成となります。これまでの供用区間と合わせ、さらなる交通混雑の緩和、通過時間の短縮、安全・安心な通行の確保などの効果が期待されます。詳細は、八戸国道出張所ホームページ

<http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/syutu/hachikoku/> をご覧ください。